

すぐに! 親身に! 誠実に!

芦屋市議会議員

たはら としひこ
田原 俊彦

1983年3月 創価大学法学部卒業
 2002年12月 三井住友銀行退職(約20年在職)
 2003年4月 芦屋市会選挙で初当選、現在6期目
 防災士 ひょうご防災リーダー 全国手話検定5級 お客様対応専門員(CAP)
 デジタル推進委員 ひょうご地域まちづくり推進員 芦屋市消費生活サポーター

田原俊彦 げんきレポート
芦屋
ほっと通信

第71号 2024/2月発行

能登半島地震により、犠牲になられた方々に心からお悔やみを申し上げます。被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。わたしたち公明党も、全力で支援してまいります。

第5回定例会 一般質問・議案等のご報告

第5回定例会 一般質問
 の録画中継はこちらから →
 (田原は、4番目に登壇)



● 単身高齢者の支援について

質問

市内で、単身高齢者が増えている。将来への不安を少しでも解消するため、「終活情報登録伝達事業」(*)に、取り組んでいる自治体もある。本市でも導入してはどうか。

答弁

現在、市は、終活に必要な知識が得られる講座を行っており、終活情報登録伝達事業を導入する考えはないが、単身高齢者の権利擁護の支援ニーズの高まりがあることは承知している。支援策を研究していきたい。

※終活情報登録伝達事業…緊急連絡先やエンディングノート(終活ノート)の保管場所、墓の所在地などの情報を市に登録でき、万一の際には、警察や医療機関などからの問い合わせに市が対応。本人に代わって登録情報を伝える。

● HPV ワクチン (子宮頸がんなどの予防ワクチン) の男性接種について

質問

HPVワクチンの接種を勧めているが、女性だけでなく、男性にも接種することは有効だ。男性への接種を勧めてはどうか。

答弁

現在、国では、男性も定期予防接種と位置づけることの是非を検討し始めており、その動向を注意してみている。

その他の質問

- 「孤独・孤立対策推進法」の成立を受けて
- 被災者を伴走支援する災害ケースマネジメントについて

教育委員の人事議案 否決に

定例会で、市長から提出された教育委員の人事議案に、公明党は賛成しました。しかし議案は、反対多数で否決となりました。公明党の賛成理由は下記の通りです。

- ・候補者は、芦屋市在住ではないが、外からの視点を入れることは、芦屋の教育に新たな風を吹かせる良い機会であると考えられること。
- ・政令市の教育長を経験しており、公立学校の教育改革を進めてきた実績があること。
- ・現在の芦屋市で課題となっている不登校対策にも取り組んできたこと。
- ・芦屋市教育委員会と連携協定を結ぶ兵庫教育大学の経営協議会委員、客員教授でもあること。
- ・文科省の中央教育審議会分科会臨時委員など数多くの分野で活躍されており、幅広い知見が期待できること。

● 災害時に避難支援が必要な方への対策について

質問

自治会や自主防災会の中には、市と協定を結び災害時に避難支援が必要な方の名簿を持っている。しかしながら、平常時の活用が十分とは言えないのではないか。

答弁

要配慮者名簿の平常時での活用については、すべての団体(自治会など)で、名簿の活用できている状況ではない。平常時での活用方法を例示していきたい。

こども医療費の拡充・非課税世帯の7万円の給付金

公明党が、訴えてきた「こども医療費助成の拡充」が実現します。令和 6 年 7 月から、こども医療費の助成対象年齢を、高校生相当まで引き上げます。所得制限を廃止し、受給資格をすべての幼児からこどもに拡充し、一部負担金の全部または一部を助成する制度です。2022 年の参院選で、公明党はマニフェストでみなさまにお約束したことが実現しました。(詳しくは QR コードで)

「非課税世帯の 7 万円の給付金」は、特に物価高の影響が大きい非課税世帯が対象となり、支給は、1 月下旬から始まっています。



Topics

トピックス

芦屋市内での買い物がお得に！ 20%戻ってくるキャンペーンがスタート

芦屋市内の対象店舗で「PayPay」を利用して買い物をすると、支払金額の最大 20%が戻ってくるキャンペーンが、2 月 1 日 (2 月 29 日まで) からスタート。昨年 11 月、芦屋市議会公明党が、芦屋市長に物価高対策の要望し、実現しました。(詳しくは QR コードで)



兵庫県 带状疱疹ワクチンの助成開始

兵庫県が、新年度「带状疱疹のワクチン接種費用」の補助を始めます。対象は 50 歳以上。助成額は、上限 2 千円です。ただし県は、公費助成を行う県内市町に対して、費用の一部を補助します。私は、これまで市議会で、带状疱疹のワクチン接種費用の助成について、何度も取り上げてきました。带状疱疹は、80 歳までに約 3 人に 1 人が発症するとされ、予防にはワクチン接種が有効ですが、高額のため、接種がなかなか進みません。多くの方から助成を求める声を頂いており、昨年春の市議選でも助成制度創設を、と訴えてまいりました。芦屋市でも、実施できるように取り組みます。

地域サポート あぶない十字路～西蔵町～

昨年 11 月に、西蔵町で「自転車と自動車の出会い頭の事故が起きる」との相談を頂きました。南北の通りは、国道 43 号線の横断歩道へとつながっており、駅に向かったり、駅からの帰り道の時間帯に、事故が多いようです。

担当部署と相談し、このたび交差点マーク(十字マーク)をつけていただき、相談者から、前より減速する車両もあり、喜んでいただきました。これからも、地域の安全対策に取り組んでまいります。



☆北極星☆

石川県珠洲市三崎町は、地震と津波で壊滅的な被害を受けました。約 40 世帯 90 人の地区は、高齢者が大半にもかかわらず、近所同士で声を掛け合い、5 分以内に高台に避難して全員無事だったそうです。東日本大震災をきっかけに、毎年の避難訓練を実施。地区に住む女性は「普段訓練をしていなかったら、みんな死んでいたかもしれない。奇跡じゃなくて、訓練が生きた」と。日ごろの声掛けと訓練の積み重ねが、命を守る行動につながった、と感じました。

発行 芦屋市議会議員 田原 俊彦

市議会 TEL 0797(38)2001 www.komei.or.jp/km/ashiya-tahara/



SNSで活動を配信中!

過去の活動も
ご覧頂けます。



友達追加はこちらで

